

# 観光研究所だより

Vol.8 No.2 Spring 2012

## Interview

### 「JATA旅博2011」 逆境を乗り越えた成功の要因

一般社団法人日本旅行業協会（JATA）理事・事務局長 長谷川 和芳氏



長谷川 和芳（はせがわ・かずよし）

三重県出身

昭和49年 4月 株式会社日本交通公社

（現株式会社ジェイティービー）入社

平成11年 2月 同 首都圏旅の予約センター 所長

平成13年 2月 株式会社ジェイティービー シドニー支店長

平成19年10月 学校法人国際文化アカデミー 業務部長

平成22年 6月 社団法人日本旅行業協会 理事・事務局長

現在に至る

2011年春、日本は未曾有の大地震による災害に見舞われ、国内外の旅行需要は一時平年値を大きく下回った。しかし、「JATA旅博2011」は、数々の困難を乗り越え、「旅は世界を元気にする」をテーマに144の国と地域の参加、協力を得ただけでなく、入場者数も前年より約6000人増の大盛況に終わった。「観光立国」を目指す日本が元気を取り戻す、そのきっかけづくりとなった旅行関連イベントが持つ役割と、現在に至るまでの軌跡、そして成功の要因を聞いてみた。

「JATA旅博2011」入場口風景（於：東京ビッグサイト）



発行：立教大学観光研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

TEL.03-3985-2577 FAX.03-3985-0279

E-mail : kanken@grp.rikkyo.ne.jp

www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/IT/

## CONTENTS

### 「JATA旅博2011」逆境を乗り越えた成功の要因

一般社団法人日本旅行業協会（JATA）理事・事務局長 長谷川 和芳氏 ……1～3

### 2011年度「ホスピタリティ・マネジメント講座」活動報告

2011年度ホテル見学会レポート ……4

2012年度「旅行業講座」日程・受講申込受付のお知らせ ……5

シリーズ/韓国最前線 劉 亨淑 ……6

シリーズ/九州便 曾山 毅 ……7

所長報告 安島 博幸（観光研究所所長） ……8

### イベント発足当初から現在までの道のりを簡単にご説明ください

本年度より新たに「JATA国際観光フォーラム・旅博2011」の名称で9月29日(木)より4日間に渡り開催致しました。同イベントは、旅行需要喚起を目的にスタートし、現在ではアジア最大規模の旅行関連イベントに成長しました。その歴史は古く、1977年にツーリズム産業内の関係者により「JATA国際観光会議・トラベルトレードショー」として隔年で開催したのが始まりです。しかし、年々海外渡航者の数も増加し、社会的な状況も大きく変化してきましたので、催し自体の在り方を時代背景に沿った内容、つまり目的を見極め、かつ会員(旅行者、旅行者代理業者他)と世界の旅行業界、一般消費者との間の共益をいかに図っていくかという点を念頭に置きながら見直しを続けてきました。そこで、業界内に留まっていたイベントを、2001年より「国際観光会議&トラベルマート」と題して一般消費者向けにも拡大、その後、2003年から2010年までは名称を「JATA国際観光会議・世界旅行博」とし、毎年開催してまいりました。

\*「旅博」=関西国際空港株式会社の持つ登録商標

### 発足当初から目標として掲げていることは

ツーリズム産業間のコミュニケーションや、同産業の社会的な認識と発展を進めること、そして、「旅行」を通して社会的な貢献をするために、一般消費者に対して「旅の楽しさや意義」をいかに上手に伝えるかという意識は当初より一貫して持ち続けています。

### 旅行業界において「JATA旅博」が担う役割とは

JATA旅博の最大の目的は旅行需要喚起と新しい需要の創出です。そのためのJATA独自の取り組みとして、「もっと!海外へ」をスローガンに「ビジット・ワールド・キャンペーン(VWC)」を2008年から推進しています。ここ数年、リーマンショックや新型インフルエンザ等、様々なイベント・リスクによる伸び悩みはあるものの、1964年に海外旅行が自由化されて年間12万8千人から始まった海外旅行者数(以下アウトバウンド)は、現在1600万人強に達しました。しかし、今後いかに短期間で目標の2000万人に到達させるかが課題となっています。また、21世紀に入ってから、特に2001年アメリカの9.11テロ事件以降、お客様が旅に「安心」「安全」を求めるようになってきているため、時代の変化を一早くキャッチし、必要な情報をどう一般消費者に伝えるか、またその情報源となる業界内のコミュニケーションをいかに高めるかという事も、B to B\*の性格を併せ持つJATA旅博が担うべき重要な役割だと思っています。

\*BtoB= business to business 企業間の取引

今年のテーマ「旅は世界を元気にする」に込められた思い、また毎年のテーマづくりやPRの点でのこだわりは

通常、イベント終了後すぐに次年度の企画や準備に取り掛かります。これだけ世の中の動きが早いと、企画の段階で1年後のイベントのテーマを検討するのは非常に難しく、やはり多少のずれが生じてきますが、今年はそれが顕著な一年だったと思います。大震災というものをどのように捉えるかということが、今までとは全く異なる最大のテーマであり、別のアプローチを求められる一面でした。その他の特色としては、「大商談会」と題して従来から実施していたビジネスミーティングの場の規模を今年は更に大きくしました。

### 未曾有の災害が重なった年に過去最高の出展数、入場者数という成功を収めた勝因はどこに

まず何よりも、関係者、参加者が一丸となってイベントを成功させようという気持ちが大変強く、終始旅博の開催を支えて頂いたことだと思います。また、各国政府観光局をはじめ、国内の出展者の皆様に、イベントの意義を再度ご理解いただき、積極的な参画、ご協力を頂いたことも大きな礎となりました。震災発生直後、計画停電の影響でイベントの開催自体も危ぶまれ、また、ご参加を予定されていた会員旅行会社各社も旅行の予約キャンセルが相次ぎ、「旅博どころではない」という雰囲気があった事も事実ですが、JATAも4月15日、国内旅行需要喚起のために使用していた「日本を元気に、旅で笑顔に。」というキャッチコピーのもと全会員旅行会社が一致団結して「東日本大震災からの復興に向けた宣言」を発表し、その後すぐに全国紙各紙にその「宣言」を掲載しました。この辺りが一つのターニングポイントになったと思いますが、5月の連休を前に、自粛ムードだった世相が、西日本を中心に通常通り生活することこそが支援、また「旅に出ることで被災地を直接支援しよう」という全国規模の動きへと変わっていきました。

### <参考資料>

入場総数	2010年度	111,232人
	2011年度*	117,236人(前年比約5.4%増)

\*過去最大144の国と地域、出展小間数986小間

### 今回の特別な取り組みや新企画について

東日本大震災復興支援チャリティー・オークションといった特別企画では、皆様のご理解、ご協力によりまして最終的に500万円にものぼるチャリティーを集めることが出来ました。

また、今回「おもしろ旅大集合!」というコンクール形式の新企画があったのですが、見事グランプリに輝いたのは、「11年に一度、最高のオーロラに出会う旅!」と題して、11年周期で巡ってくるオーロラ最盛期を利用したツアーを企画した航空会社フィンエアー(フィンランド)、2

会場俯瞰



EASTステージ (ドラムパフォーマンス: 南アフリカ観光局)



WESTステージ (ブルネイ民族舞踊団: ブルネイ観光局)



なまはげ太鼓 (秋田県男鹿市役所観光課)



観光フォーラム (シンポジウム2)



商談風景

位は、ほぼ全ての灯台に宿泊施設が併設されており、日の出、日の入りを大パノラマで見ることができるといふ、究極のオーシャンビューを魅力に掲げたクロアチア政府観光協会の「24時間大自然、灯台に泊まろう!」というツアーでした。こうした旅はやはりプロの経験と知識ならではのものです。B to BからB to C\*まで網羅する本イベントの特色を十分に発揮した企画だと思えます。

\*BtoC= business to consumer 企業と一般消費者の取引

### 「国内旅行ゾーン」も大変充実していました

私共も今年は従来以上に国内旅行需要喚起を意識し、国内旅行ゾーンを全体の1割と、大幅に拡充しました。本イベントは、今まで海外からの出展が中心だったのですが、5月に行われる予定であった観光振興協会主催の旅フェア2011が震災の影響で開催中止となり、国内旅行をアピールする場が少なくなっていました。そこで、各県、各団体も非常に個性的な取り組みをしてくださり、連日素晴らしいイベントが目白押しでした。また、各県で大人気の「ゆるキャラ」たちも一堂に勢揃いしてイベントを盛り上げてくれました。

### 本イベントを通して入場者に一番感じて欲しいことは

何よりも、「旅はやっぱりいいな」という気持ちを皆様に喚起することでしょうか。「このイベントに参加して、世界旅行をした気分になった」というコメントを数多くお寄せ頂きましたが、出来ればそこに留まらず、実際に「旅」をして頂きたいと切に願います。わずかな時間でも、相互理解、相互交流という、社会において重要なコミュニケーションから学べる事が沢山あるということ、また、食も含め、異文化一般に触れることの大切さを訴えていきたいです。そして、ツーリズム産業を目指す大学生や専門学校生の方々にも今後共是非「旅博」にお立ち寄り頂き、現地から自国の観光を促進するためにお越しになられている世

界からの出展者の皆様と実際に意見交換をし、見聞を広める場として利用して頂きたいです。

### 今後日本への、日本からの「旅」を更に活気づけるために何が必要

「観光」や「旅行」は、衣食住のような生活必需品ではありませんが、人々の豊かな生活や社会、経済の向上には大変重要な役割があり、それを今回の震災を機に国民レベルで再認識して頂いたように思います。特に、「即効性」のある直接的な支援方法として、旅を見直すこととなった一年でした。また、国外からの旅博の出展者、参加国が自国に日本の現状を正確に伝えることで、日本が大震災後、新たに歩み始めているというイメージをしっかりとアピールできただけでなく、海外のメディアもそれを十分に取り上げてくれたことは大きな成果だったと思います。ただ、アウトバウンドは回復しつつあるものの、インバウンドの伸び悩みが引き続き懸念されます。依然として日本に対する渡航自粛等の規制障壁もあり、その中でどのように日本の観光の安全性、魅力というものをアピールしていくかが課題です。その一助として、成田、中部、関西、羽田国際空港では、「日本からの“ありがとう”キャンペーン」として、出発旅行者に各国からの支援に対する感謝の気持ちを形にした、「ありがとう絵はがき」を海外で配って頂き、世界の皆様に「日本の元気」を伝えることで、インバウンドの回復につなげていこうという活動もなされています。また、旅行会社がプロとしてのノウハウをもって、今後どのように「新しい旅」を国内外にアピールしていくか。こうした意味でも、JATA国際観光フォーラム・旅博での専門家同士の情報交換や協力は、新しい市場を開拓していく上でやはり不可欠です。

本日はご協力有難うございました。

(取材日: 2011年11月16日)

# 2011年度「ホスピタリティ・マネジメント講座」活動報告

アジア初のフォーシーズンズホテルとして開業し、今年で20周年を迎えるフォーシーズンズホテル椿山荘 東京にて、10月17日(月)14時より約1時間半に及ぶホテル見学会を実施致しました。格調高い中にも「家庭的」な雰囲気や、利用客との「家族的」なコミュニケーションを追求するホテルの姿勢が至るところに現れており、心の安

らぎを感じさせる空間となっていました。また、婚礼がホテルの全売上の約3分の1を占めるというフォーシーズンズホテル椿山荘ならではの、各種ブライダル関連の個性的な設備投資が目を引きました。

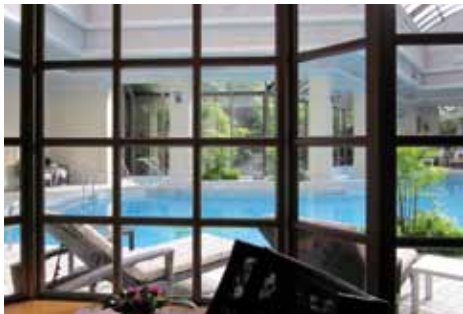
◆実施日:10月17日(月)14:00~15:30

◆参加人数:12名(うち事務局スタッフ2名)

## 2011年度ホテル見学会レポート

## フォーシーズンズホテル椿山荘東京

スパ&トリートメント「悠YU, THE SPA at Four Seasons」



客室 コンサバトリー (64㎡:ジュニアスイート)



ブライズ・ルーム (新婦お支度室)



客室 スーペリア (45㎡:シティビュー)



Chef's Table (シェフズ・テーブル:オープンキッチン付きダイニングルーム)



集合写真 (2011年10月17日撮影)

フォーシーズンズホテル椿山荘東京(以下フォーシーズンズ椿山荘)は1992年1月16日にフォーシーズンズホテルのアジア地区進出第一号ホテルとして開業した。

1990年代の同時期に開業した新宿の「パークハイアット東京」、恵比寿の「ウェスティンホテル東京」と一緒にホテル業界の新御三家などと呼ばれた。この呼び名は御三家と呼ばれていた「帝国ホテル」、「ホテルオークラ」、「ホテルニューオータニ」と比較されて造られた呼称である。帝国、オークラ、ニューオータニはそれぞれ日比谷、虎ノ門、赤坂見附と都心の一等地にある。しかしパークハイアット、ウェスティン、フォーシーズンズ椿山荘はそれぞれ新宿、恵比寿、目白台と今まで高級ホテルが進出していなかった東京の新しいエリアに進出していく。2000年代以降の外資系ラグジュアリーホテルも都心の一等地を中心に立地していくのに対して、1990年代に建てられたこのようなホテルは異質である。

前述したようにフォーシーズンズホテル椿山荘東京は、山手線内にあるものの最寄り駅である有楽町線の江戸川橋駅から徒歩で10分程かかる。この事はビジネス客にとって便利な立地であると言えない。しかし明治時代から存在した2万坪の庭園による都心にはない緑の光景や周辺環境の静けさがあり、上記のホテルにはないフォーシーズンズ椿山荘の強みとなっている。そのため、ビジネス客以外にも夫婦や子連れの家族など様々な客層が訪れている。また、フォーシーズンズの名前を使用しているため、海外での知名度が高

い。そのため外国人の利用客も多い。

フォーシーズンズ椿山荘には259の客室があり、標準的な部屋であるスーペリアルームは45㎡とラグジュアリーホテルとして十分な広さがある。特に印象的であったのが、窓際にある緑の観葉植物と、大理石が使われている浴室である。緑が見えるというコンセプトの通り、窓際からの展望が素晴らしく、眺めの良い部屋から埋まっていくという話であった。

見学させていただいた14階のスイートルームは、全面ガラス張りです。外を眺められるという部屋のつくりで外にある緑を身近に感じる事ができた。

フォーシーズンズ椿山荘内にレストラン・バーは5箇所、バンケットは大小合わせて13箇所存在する。この数は同時期に出来たホテルと比べて多い。数が多いだけでなく、会議場・宴会場も様々な用途で使えるように工夫されている。一般的に見られる会議場のような部屋から、すり鉢状で同時通訳が可能なアンフィシアターと呼ばれる部屋など様々なタイプの部屋が存在する。

フォーシーズンズ椿山荘最大のセールスポイントはウェディングである。都心にありながらも緑があふれ、光が降り注ぎ白を基調としたチャペルを持つ。フォーシーズンズ椿山荘では年間700件前後の利用がある。

(立教大学観光学部3年・男性)

# 2012年度「旅行業講座」日程・受講申込受付のお知らせ

2012年度「旅行業講座」の受講申込受付期間は4月2日(月)～4月11日(水)です。国内受験コース、総合受験コース、海外受験\*コース(\*すでに国内資格保持者で、総合試験受験を希望する方向け)の3コースから、ご希望にあったコースをご選択頂けます。当研究所が提供する「旅行業講座」は、旅行業務取扱管理者試験対策講座としては、実績、歴史ともに自信を持ってお勧めできる公開講座です。

受講願書は観光研究所ホームページ (<http://www.rikkyo.ac.jp/>)

research/laboratory/IT/)の旅行業講座、詳細・日程・募集要項のサイトからダウンロードが可能です。また、希望者には詳しいパンフレットを当研究所にて配布しております。郵送をご希望の方は、下記のE-mailアドレスにお名前、ご住所、旅行業講座パンフレット希望とご記入の上、メールをご送信ください。その他のお問い合わせは立教大学観光研究所事務局までどうぞ。

2012年度の時間割は下記の通りです。

立教大学観光研究所 (Tel: 03-3985-2577 Fax: 03-3985-0279 E-mail: [kanken@grp.rikkyo.ne.jp](mailto:kanken@grp.rikkyo.ne.jp))

## 2012年度 旅行業講座時間表

立教大学観光研究所

月	日	曜日	火・木曜日 19:00～20:30 7号館 7101教室		土曜日 14:00～15:30 / 15:40～17:10 7号館 7101教室		受講コース
			科目	講師	講師	講師	
4月	21	土	オリエンテーション	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内・海外
	21	土	国内実務(観光資源 1)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	24	火	国内実務(観光資源 2)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	26	木	国内実務(観光資源 3)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	28	土	旅行業法令(1)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	28	土	旅行業法令(2)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
5月	1	火	旅行実用英語	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	8	火	国内実務(観光資源 4)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	10	木	国内実務(運賃料金 1)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	12	土	旅行業法令(3)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	12	土	旅行業法令(4)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	15	火	国内実務(運賃料金 2)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	17	木	国内実務(運賃料金 3)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	19	土	旅行業法令(5)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	19	土	約款(1)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	22	火	国内実務(運賃料金 4)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	24	木	国内実務(運賃料金 5)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
6月	26	土	約款(2)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	26	土	約款(3)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	29	火	国内実務(運賃料金 6)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	31	木	国内実務(運賃料金 7)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	早川 喜世司	総合・国内
	2	土	約款(4)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	2	土	約款(5)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	5	火	海外観光資源(1)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	7	木	海外観光資源(2)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	9	土	約款(6)	一般社団法人 日本旅行業協会	総合企画部 消費者相談室 調査役	下平 久人	総合・国内
	9	土	国際航空運賃(1)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	12	火	海外観光資源(3)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
7月	14	木	海外観光資源(4)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	16	土	国際航空運賃(2)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	16	土	国際航空運賃(3)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	19	火	海外観光資源(5)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	21	木	海外観光資源(6)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	23	土	国際航空運賃(4)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	23	土	国際航空運賃(5)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	26	火	海外観光資源(7)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	中谷 哲雄	総合・海外
	28	木	出入国制度(法令実務 1)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	30	土	国際航空運賃(6)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
	30	土	国際航空運賃(7)	株式会社 マイバック カスタマーサービス部長		渡辺 清一	総合・海外
8月	3	火	出入国制度(法令実務 2)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	5	木	出入国制度(法令実務 3)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	7	土	出入国制度(法令実務 4)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	7	土	海外旅行実務(1)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	10	火	海外旅行実務(2)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	12	木	海外旅行実務(3)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
9月	14	土	海外旅行実務(4)	学校法人 国際文化アカデミー	JTBトラベル&ホテルカレッジ専門講師	高橋 利男	総合・海外
	2	木	国内旅行業務取扱管理者試験 模擬試験	株式会社 ジェイティービー能力開発		15:00～17:30	国内
4	火	総合旅行業務取扱管理者試験 模擬試験	株式会社 ジェイティービー能力開発		13:30～17:30	総合・海外	

# シリーズ/No.15 韓国最前線

東義大学校商経大学ホテル・コンベンション経営学科副教授  
劉 亨淑

## 機張ブンジャンオ祝祭 기장붕장어축제



図1 釜山広域市（機張郡の立地と“機張ブンジャンオ祝祭”の開催地）

釜山広域市は韓国第2の都市であり、第1の貿易港口都市である。釜山広域市の行政区域には15の区と1つの郡がある。2011年11月4日から5日まで、釜山広域市の北東部に位置している機張郡の蓮花里で第7回目の“機張ブンジャンオ祝祭”が開催された。“機張ブンジャンオ祝祭”は機張郡の‘七岩里’と‘蓮花里’の2カ所で1年おきに開催されるお祭りで、今年は‘蓮花里’で開催された（図1）。

ブンジャンオ（붕장어）の日本語表記はアナゴ（穴子）である。韓国の人でも‘ブンジャンオ（붕장어）’は知らなくても‘アナゴ（穴子）’は知っている人が多い。大学の同僚との話で、“ブンジャンオ祝祭”へ遊びにいらっしやいと誘ったら‘ブンジャンオ’が何かを聞いてきた人が結構いた。

韓国で‘ブンジャンオ’は低価格の魚でありながら、高い栄養価と美味しさで、刺身や天ぷら、焼き魚などのメニューで消費されている魚である。機張郡では体に良く、味も良い機張ブンジャンオを広く知らせると共に観光商品として開発し、観光客の誘致及び地域経済を活性化するために祝祭を開催している。

機張郡蓮花里には海女\*さんが結構いて、現在関わっているプロジェクトの一環として行った海女さんとのインタビュー調査で、蓮花里と関係を結ぶようになり、毎週機張郡蓮花里へ足を運ぶうちに、今年のお祭りに協力する

ことになった。我がプロジェクトチームは、‘蓮花里海女さん’のブースを運営し（写真1）、一般的なブンジャンオ料理ではなく、フュージョン料理としてのブンジャンオ料理を大学の料理担当の先生と学生が創作し、祝祭場で披露することにした（写真2、写真3）。

ブンジャンオ祝祭場では、終始一貫ブンジャンオの効能や祝祭の広報に関する映像やブンジャンオ・ソングが流れていて、小さな町‘蓮花里’が二日間お祭りで賑やかだった。本祝祭では‘アナゴ’ではなく‘ブンジャンオ’という用語を普及することに熱心だった。

“ブンジャンオ祝祭”は、大都市でのお祭りとは違って機張地域住民たちが仕事を終えた夕方以降の時間に祝祭場を訪れる、‘地域密着型祝祭’として定着しているようだ。しかし、ブンジャンオ関連体験や教育プログラムは不足していたため、訪問客が集中する食事の時間になると祝祭場が狭くないため、ブンジャンオ料理関連屋台はパニック状態であった。

“ブンジャンオ祝祭”のような地域密着型のお祭りは、韓国政府が力を入れている‘文化観光祝祭’とは違った方針で運営されているわけで、住民参加者や祝祭参加者皆がお祭りを楽しんで過ごせれば何よりである。しかし“ブンジャンオ祝祭推進委員会”は、もう少しプログラムの工夫や祝祭場での参加者の路線を考慮すべきであると思った。

韓国の漁村や農村が高齢化や空洞化していく中、‘機張郡蓮花里’はまだ青年漁夫たちが‘村’を守っているし、中年の海女さんたちも共に海産物を販売している小さな漁村である。村の人々が共に発展していく中で、‘蓮花里’村の景観整備など、村人が考慮しなくてはいけないことは、まだ多く生じると思うが、村人皆が賢く考えて解決していくことを願っている。

\*2011年、国土海洋部の用役プロジェクトとして 機張郡の海洋観光の人材育成プログラムを開発しているが、その主な対象者が海女さんである。



写真1 蓮花里海女広報展示館



写真2 ブンジャンオ・フュージョン料理試演（祝祭前記者団への披露用）



写真3 ブンジャンオ・フュージョン料理試演（祝祭中）

劉 亨淑（コウ・ヒョンスク）

韓国・東亜大学校自然科学物理学理学学科卒業。立教大学大学院観光学研究科博士課程後期課程修了 観光学博士。2002年4月～2003年3月立教大学観光学部助手。2003年4月～2004年3月立教大学観光学研究所学術研究員。2004年3月～2006年2月韓国・東明情報大学校ホテル経営学科専任講師を経て2006年3月より東義大学校商経大学ホテル・コンベンション経営学科専任講師、2007年3月より助教授、2011年3月より副教授。

シリーズ/No.9

# 九州便

九州産業大学商学部観光産業学科教授

曾山 毅

## 台湾「医療観光」体験記

私は昨年9月からこの1月末までの5か月間、台北市にある中央研究院台湾史研究所に訪問学人 (Visiting Scholar) として滞りました。ほぼ毎日、研究室と徒歩数分の宿舍とを往復しながら日本統治期台湾の旅行や観光に関する史料を集めていました。そこで、今回の「九州便」は台北滞在中に因らざるも経験した医療観光を中心に書いてみたいと思います。

景気後退しているといいつながら、私の眼には台湾は相変わらず元気に映ります。台北市内の繁華街はどこへいっても大変な賑わいで、台北市民の購買欲も旺盛です。観光関係では、昨年は中華民国建国100年にあたり、〈100〉の数字をよく目にしましたが、これに合わせたかのようにEUが台湾からの旅行者に対して観光ビザを免除することになりました。それから、これまでも増して中国観光客に台北市内の至るところで出会います。しかし、増え続ける中国人観光客は現地では必ずしも好感を持たれていません。それは彼らのマナーに理由があるようです。

さて、台湾北部では例年1、2月に雨がが多いのですが、今年は秋季に長雨が長く続くことが多く、高い湿度のせいか、台湾に来る前から具合が悪かった右ひじが痛み始めました。そこで、当地の医療通の勧めもあって中国医学のお世話になることにしました。台湾では病院数、医者の数どちらをとっても西洋医学が圧倒的に多いのですが、一方で中国医学に信頼をよせる人たちも、世代や職業、学歴などを超えて多く存在します。私に中国医を紹介してくれた医療通のご夫婦も、ご主人が国立台湾大学気象研究所に助手として勤め、奥さまは弁護士で現在銀行の法務室勤務という知的エリートです。

現在、台湾には医学大学および大学医学部が14ありますが、そのうち2校に中国医学部が設置され、このほかに学士入学者を対象とした中国医学科を設置している医療

系学部が1つあります。中国医の教育期間は一般の医学部と同じで7年間です。また、台湾では私大医学部の学費は年間7万円 (日本円18.2万円) で、私大理工学部の年間5.5万円 (同14.3万円) と比べてそれほど差がありません。医者になるための経済負担が日本のように高額ではないのです。そのため、医大を目指す受験競争はより激烈を極めていきます。

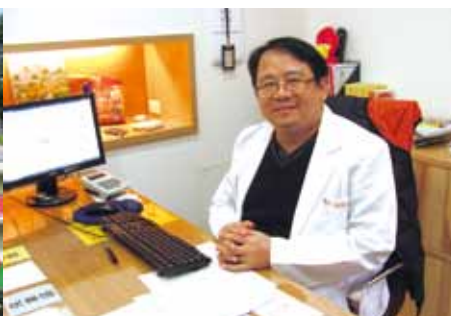
私が訪ねた黄祈真先生の診療所は、パソコン街で有名な八徳路にあります。診療所の雰囲気は西洋医学のそれとあまり変わりません。受付の奥が診察室、受付の裏に鍼治療をおこなう小部屋が6つ並んでいます。黄先生は以前台北市内の有名中国医学病院に勤務していましたが、最近独立してこの医院を開業しました。内科、小児科、婦人科が専門ですが、独立後は全ての科を担当しているようです。

診察はまず問診があり、中国医学で重要な脈診を行います。そして治療方針を決定します。黄先生はカルテを電子化して管理しています。基本的な治療は投薬と鍼灸によりますが、現在は西洋医学と連携して治療に当たることもしょくありません。大きな中国医学病院になると、レントゲンをはじめとした検査機器を備えているところもあるようです。治療費は黄診療所の場合たいへん明瞭で、診察費と1週間分の薬、鍼治療がセットで600円 (日本円1560円) になります。台湾人であれば保険がきいてさらに安くなります。

私はこれまで9回通院し、右腕に毎回8、9本程度の鍼治療を受け、ひじはだいぶ改善してきました。ただし、離台するまで続けた方が良いといわれているので、しばらく通院することになるはずですが、中国医学の特徴を一言でいうと「スロー」な医療ということでしょう。病気をゆっくりと根本的に治すという感じがあります。今回の滞在中では幸か不幸か、医療観光を経験することができ、あらたな台湾のおもしろさを発見した次第です。



(上) 中央研究院内・数理大道  
(下) 祝中華民國建国百周年



診療室の黄先生



診療室入口と受付

曾山 毅 (そやま・たけし)

慶應義塾大学経済学部卒、立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程後期課程退学観光学博士。1998年4月～2002年3月立教大学観光学部助手、2002年4月～2004年3月立教大学観光研究所学術研究員を経て2004年4月より名桜大学国際学部観光産業学科助教授を経て2007年4月より九州産業大学商学部観光産業学科准教授、2011年4月より教授。

## 所長報告



立教大学観光研究所所長 安島 博幸



観光地経営専門家育成プログラム  
お寺の本堂での研修（飯山市）



（上）グループワークの様子  
（下）授業風景



「森の家」（飯山市）での交流会

観光研究所は、戦後すぐの1946年に始まった伝統を持つホスピタリティ・マネジメント講座と旅行業講座を公開講座として長く開講してきており、観光業界に多くの人材を送り出してきた。この二つの講座は、開設当初より本学学生だけではなく、他大学生および社会人に門戸を開いた“公開講座”として運営されてきた点に大きな特色がある。

この二つの講座に対して一昨年から新たに加わった講座がある。それは観光地経営専門家育成プログラムである。ホテル・旅館など宿泊業や旅行業の経営に加えて、観光地全体を視野に入れて地域経営を担う人材を育成する講座である。まだスタートしてまもなく、ご存じではない方も多いと思われるので、ここで改めて紹介させていただきたい。

この講座を開講するきっかけになったのは、2008年度の経済産業省「産学連携人材育成事業（サービス人材分野）」において、立教大学による「観光地を革新する“観光地経営専門家”育成プログラム」が採択されたことに始まっている。近年、国内観光地が低迷する中、九州の別府や由布院温泉、長野県小布施町などでは、地域に埋もれていた資源を発掘しながら、新しい事業のアイデアを結びつけて、新しいライフスタイルを創り出す組織的な取組を通じて広がり、地域の活性化に成功している。このような「観光まちづくり」の担い手は、従来の個々の経営体による施設競争型の経営スキルに特化した人材では不十分で、観光地を単位として内外の環境要因を総合評価しながら潜在する魅力を発見し、新しいアイデアのもとに観光資源、事業者などを革新的に再構成し、関係者と組織して外部のメディア等を通じ戦略的に社会に生活提案しながら自らを“売る”ことができる「新たなスキル」を持った専門家が必要であると考え、大学院レベルの教育プログラム開発を提案した。初年度

は、教育プログラムと教材の開発を行い、2009年度には実証プログラムを開講した。これを見直して2010年度から自立してプログラムを開講し、今年度で2年目になる。講座は、立教大学大学院観光学研究科の正規科目として開講する部分と観光研究所科目に分かれており、正規科目については、一定以上の成績を修めた場合は大学院の単位を認定している。プログラムは次の3つの科目から構成されている。

### ◆観光事業の革新と再構築

観光地の持続的な発展には、事業の絶え間ない革新（イノベーション）と再構築が行われ、活性化した組織とネットワークが維持されることが必要である。観光地の魅力維持と観光地経営に関するイノベーションの基本的な考え方を学ぶとともに、観光事業推進組織づくり、事業者のネットワーク形成などについて学ぶ。

### ◆観光事業の企画と評価

観光地経営には、長期的視座に立って地域の観光事業の競争力を的確に評価し、対象の諸問題を構造的に分析する能力や技術がまず必要である。また、メディア戦略や地域内のコミュニケーション力、地域資源を活用して新たな商品を創出する企画力向上を目指す。

### ◆観光地経営のケーススタディー

従来型の観光地経営に限界が見えてきた中、全国にはそれを打破すべく新たな挑戦が行われ、高い評価を受けている事例も見られるようになってきた。これらを通じて観光地経営におけるイノベーションの本質的な部分を学ぶ。

さらに関心のある方は、観光研究所のホームページより、「観光地経営専門家育成プログラム」の紹介 <http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/IT/serviceJZ/> をご覧下さい。